



2022年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年11月10日

上場会社名 株式会社 コロワイド 上場取引所 東
 コード番号 7616 URL <https://www.colowide.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野尻 公平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 瀬尾 秀和 TEL 045-274-5970
 四半期報告書提出予定日 2021年11月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績 (2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上収益 | | 事業利益 | | EBITDA | | 四半期利益 | | 親会社の所有者に帰属する四半期利益 | | 四半期包括利益合計額 | |
|---------------|--------|-------|--------|---|--------|---|--------|---|-------------------|---|------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期第2四半期 | 78,401 | 7.6 | 3,464 | — | 7,546 | — | 1,517 | — | 915 | — | 1,614 | — |
| 2021年3月期第2四半期 | 72,852 | △39.3 | △8,913 | — | △5,159 | — | △6,814 | — | △5,788 | — | △7,024 | — |

| | 基本的1株当たり 四半期利益 | 希薄化後1株当たり 四半期利益 |
|---------------|-------------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期第2四半期 | 5.18 | 5.18 |
| 2021年3月期第2四半期 | △84.03 | △84.03 |

(2) 連結財政状態

| | 資産合計 | 資本合計 | 親会社の所有者に 帰属する持分 | 親会社所有者 帰属持分比率 | 1株当たり親会社 所有者帰属持分 |
|---------------|---------|--------|--------------------|------------------|---------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2022年3月期第2四半期 | 268,252 | 58,617 | 49,863 | 18.6 | 396.35 |
| 2021年3月期 | 267,482 | 39,441 | 31,086 | 11.6 | 207.48 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期 | — | 0.00 | — | 5.00 | 5.00 |
| 2022年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2022年3月期 (予想) | — | — | — | 5.00 | 5.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は普通株式にかかる配当状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当については、後述の「優先株式の配当状況」をご覧ください。

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上収益 | | 事業利益 | | EBITDA | | 当期利益 | | 親会社の所有者に 帰属する当期利益 | 基本的1株当たり 当期利益 | |
|----|---------|------|-------|---|--------|---|-------|---|----------------------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | 円 銭 | |
| 通期 | 221,665 | 31.8 | 7,656 | — | 15,131 | — | 2,413 | — | 536 | — | 0.24 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 ー社 (社名) ー

除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|------------|-------------|----------|-------------|
| 2022年3月期2Q | 86,903,541株 | 2021年3月期 | 75,284,041株 |
|------------|-------------|----------|-------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|------------|----------|----------|----------|
| 2022年3月期2Q | 250,168株 | 2021年3月期 | 250,046株 |
|------------|----------|----------|----------|

③ 期中平均株式数（四半期累計）

| | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2022年3月期2Q | 76,698,089株 | 2021年3月期2Q | 75,034,381株 |
|------------|-------------|------------|-------------|

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 当社グループは、国際会計基準（IFRS）を適用しております。

(2) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

優先株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳及び配当金総額は以下のとおりです。

優先株式

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) |
|---------------|----------|--------|--------|--------------|--------------|----------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 | |
| 優先株式 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期 | — | — | — | 3,126,360 00 | 3,126,360 00 | 93,790,800 00 |
| 2022年3月期 (予想) | — | — | — | 3,126,360 00 | 3,126,360 00 | 93,790,800 00 |
| 第2回優先株式 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期 | — | — | — | 3,626,360 00 | 3,626,360 00 | 108,790,800 00 |
| 2022年3月期 (予想) | — | — | — | 3,626,360 00 | 3,626,360 00 | 108,790,800 00 |
| 第3回優先株式 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期 | — | — | — | 3,500,000 00 | 3,500,000 00 | 315,000,000 00 |
| 2022年3月期 (予想) | — | — | — | 3,500,000 00 | 3,500,000 00 | 315,000,000 00 |

○添付資料の目次

| | |
|---------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 要約四半期連結財政状態計算書 | 4 |
| (2) 要約四半期連結損益計算書 | 6 |
| (3) 要約四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (4) 要約四半期連結持分変動計算書 | 8 |
| (5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 10 |
| (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 11 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 11 |
| (会計方針の変更に関する注記) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、7月以降好調だった中国経済が減速し米国経済にも陰りが出てきた上に、半導体不足が深刻化、更に東南アジアで新型コロナウイルス感染症の感染再拡大によって部品供給が混乱したことから、自動車関連を中心に生産・輸出が鈍化してまいりました。個人消費につきましては、感染防止ワクチンの接種が進展してきたことや、「自粛疲れ」を背景に一時的に回復傾向がみられたものの、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が東京以外でも激増してきた7月下旬以降、緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置の対象地域が拡大したことが影響し、再び低調に転じました。10月1日に緊急事態宣言と蔓延防止等重点措置が解除され経済再開が期待されておりますが、冬場に向かって新型コロナウイルス禍の第6波の懸念が払拭できず、原油や天然ガスの価格高騰もあって、先行き不透明な状態が続くと予想されます。

外食産業におきましては、店舗の休業や営業時間の短縮、酒類の提供制限等を余儀なくされた上に、東京2020オリンピック・パラリンピックの自宅でのテレビ観戦や、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数の激増、全国的な長雨の影響などにより来店客数は低迷したままとなりました。各自治体による時短営業等に対する協力金の支給があったとはいえ、売上水準はコロナ禍以前のものから大きく下回っており、更に外食から内食へのシフトも進んでいるため非常に厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループにおいては引き続き「すべてはお客様の為に」をモットーにQSCAを高め、家庭ではなかなか体験できない様々な料理や、高レベルのサービスをお客様に提供することによって、「楽しかった、美味しかった」とお客様に喜んで頂けるよう心掛けております。そして新型コロナウイルス感染症の感染拡大抑止のため従業員の健康・衛生管理の強化や、お客様に対する入店時の検温・手指のアルコール消毒並びにマスク会食依頼、店舗内における密閉・密集・密接の回避など、様々な対策を引き続き講じております。また中食を上回る上質でお値打ち感のあるランチメニューやテイクアウト商品の拡充・強化、デリバリーサービスの推進、デパートの地下食品売り場や駅ビル内への大戸屋による惣菜店の出店、インターネット上に実店舗では扱っていない様々なメニューを登録し提供する「バーチャルレストラン」の展開などを行っております。更に料理に必要なカット済みの食材や調味料・ソースをセットにして、完成度の高い料理を短時間で作れるようにする「ミールキット」の開発や、セントラルキッチン近隣生産農家から調達した食材の残渣を堆肥化し、生産農家に還元する地域循環活動にも取り組んでおります。

コスト面では、引き続き費用対効果の精査に努め、損益分岐点の引き下げを鋭意図っております。そのため従業員の適切な配置転換による人材の活性化や、分単位の適正労働時間の算出に基づく人件費の削減、賃借物件の家賃契約をはじめとする各種契約の見直しによる費用圧縮、業態転換或いは業態集約、提供メニューの工夫に基づく使用食材の歩留まり向上、需要予測の精緻化による食品廃棄ロスの低減、セントラルキッチンの生産ラインにおける作業の一層の効率化、物流拠点の集約及び物流全体の最適化などを進めております。

店舗政策につきましては、直営レストラン業態を7店舗、直営居酒屋業態を5店舗、合計12店舗を新規出店致しました。一方、不採算や賃借契約の終了などにより直営レストラン業態を26店舗、直営居酒屋業態を19店舗、合計45店舗を閉店致しました。その結果、当第2四半期連結会計期間末の直営店舗数は1,437店舗となりました。尚、F C店舗を含めた総店舗数は2,802店舗となっております。

海外事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染が再拡大していた東南アジアにおいて厳しい状況が続きましたが、米国では不透明さが未だ残っているとはいえ底打ち感が出ております。

以上のような施策を進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大抑止を図る必要から、要請に従い営業店舗の休業や時短営業を継続して実施していることや、夏場における新型コロナウイルス禍第5波の影響などによって、既存店売上収益は新型コロナウイルス禍の顕在化する以前の水準には戻っておりません。

当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上収益が784億1百万円、事業利益が34億64百万円、四半期利益が15億17百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益が9億15百万円となりました。

当社グループのセグメント別の売上収益につきましては、㈱コロワイドMD290億41百万円、㈱アトム140億80百万円、㈱レイズインターナショナル225億45百万円、カップ・クリエイト㈱330億93百万円、㈱大戸屋ホールディングス84億16百万円、その他66億1百万円となっております。

尚、各セグメント別の売上収益は、セグメント間の内部売上収益又は振替高等を考慮しておりません。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億70百万円増加し、2,682億52百万円となりました。これは主に使用権資産が16億96百万円、その他の金融資産が16億61百万円、繰延税金資産が8億6百万円減少したものの、営業債権及びその他の債権が50億70百万円、現金及び現金同等物が16億58百万円増加したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ184億6百万円減少し、2,096億35百万円となりました。これは主に社債及び借入金が83億63百万円、未払法人所得税が31億82百万円、営業債務及びその他の債務が26億32百万円、リース負債が24億50百万円減少したことによるものです。

資本合計は、前連結会計年度末に比べ191億76百万円増加し、586億17百万円となりました。これは主に資本金が93億75百万円、資本剰余金が92億90百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、営業活動によるキャッシュ・フローが28億45百万円、投資活動によるキャッシュ・フローが△17億47百万円、財務活動によるキャッシュ・フローが5億57百万円、現金及び現金同等物に係る換算差額が3百万円となりました結果、前連結会計年度末に比べ16億58百万円増加し、400億81百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に税引前四半期利益、減価償却費及び償却費によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に有形固定資産の取得による支出によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に株式の発行による収入、長期借入れによる収入によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年5月13日に発表致しました通期の連結業績予想の数値から変更はございません。尚、今後の業績の推移等を慎重に検討した上で、変更が必要な場合には適切に開示してまいります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第2四半期 連結会計期間 (2021年9月30日) |
|----------------|-------------------------|----------------------------------|
| 資産 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び現金同等物 | 38,422 | 40,081 |
| 営業債権及びその他の債権 | 14,238 | 19,308 |
| その他の金融資産 | 989 | 1,020 |
| 棚卸資産 | 2,806 | 3,432 |
| 未収法人所得税 | 605 | 139 |
| その他の流動資産 | 4,659 | 3,741 |
| 小計 | 61,719 | 67,720 |
| 売却目的で保有する非流動資産 | 517 | — |
| 流動資産合計 | 62,236 | 67,720 |
| 非流動資産 | | |
| 有形固定資産 | 44,339 | 44,251 |
| 使用権資産 | 27,831 | 26,135 |
| のれん | 79,409 | 79,494 |
| 無形資産 | 13,788 | 13,251 |
| 投資不動産 | 509 | 500 |
| その他の金融資産 | 25,608 | 23,917 |
| 繰延税金資産 | 13,376 | 12,570 |
| その他の非流動資産 | 385 | 415 |
| 非流動資産合計 | 205,246 | 200,532 |
| 資産合計 | 267,482 | 268,252 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第2四半期 連結会計期間 (2021年9月30日) |
|------------------|-------------------------|----------------------------------|
| 負債及び資本 | | |
| 負債 | | |
| 流動負債 | | |
| 営業債務及びその他の債務 | 18,721 | 16,197 |
| 社債及び借入金 | 51,686 | 38,651 |
| リース負債 | 15,286 | 12,719 |
| その他の金融負債 | 22 | 24 |
| 未払法人所得税 | 3,703 | 521 |
| 引当金 | 5,514 | 4,750 |
| 契約負債等 | 238 | 224 |
| その他の流動負債 | 8,971 | 8,749 |
| 流動負債合計 | 104,141 | 81,834 |
| 非流動負債 | | |
| 営業債務及びその他の債務 | 4,113 | 4,005 |
| 社債及び借入金 | 81,885 | 86,558 |
| リース負債 | 24,618 | 24,735 |
| その他の金融負債 | 2,223 | 2,149 |
| 退職給付に係る負債 | 522 | 507 |
| 引当金 | 7,123 | 7,142 |
| 繰延税金負債 | 1,748 | 1,354 |
| 契約負債等 | 811 | 761 |
| その他の非流動負債 | 856 | 590 |
| 非流動負債合計 | 123,899 | 127,801 |
| 負債合計 | 228,041 | 209,635 |
| 資本 | | |
| 資本金 | 18,530 | 27,905 |
| 資本剰余金 | 31,302 | 40,592 |
| 自己株式 | △159 | △159 |
| その他の資本の構成要素 | △630 | △540 |
| 利益剰余金 | △17,958 | △17,936 |
| 親会社の所有者に帰属する持分合計 | 31,086 | 49,863 |
| 非支配持分 | 8,355 | 8,754 |
| 資本合計 | 39,441 | 58,617 |
| 負債及び資本合計 | 267,482 | 268,252 |

(2) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) |
|----------------------------------|---|---|
| 売上収益 | 72,852 | 78,401 |
| 売上原価 | 33,355 | 35,753 |
| 売上総利益 | 39,497 | 42,648 |
| 販売費及び一般管理費 | 48,410 | 39,184 |
| 事業利益又は事業損失 (△) | △8,913 | 3,464 |
| その他の営業収益 | 862 | 1,132 |
| その他の営業費用 | 1,856 | 598 |
| IFRS営業利益又はIFRS営業損失 (△) | △9,908 | 3,998 |
| 金融収益 | 2,289 | 187 |
| 金融費用 | 1,504 | 1,993 |
| 税引前四半期利益又は税引前四半期損失 (△) | △9,122 | 2,192 |
| 法人所得税費用 | △2,309 | 675 |
| 四半期利益又は四半期損失 (△) | △6,814 | 1,517 |
| 四半期利益又は四半期損失 (△) の帰属 | | |
| 親会社の所有者 | △5,788 | 915 |
| 非支配持分 | △1,026 | 602 |
| 四半期利益又は四半期損失 (△) | △6,814 | 1,517 |
| 1株当たり四半期損失 (△) | | |
| 基本的1株当たり四半期利益又は四半期損失 (△) (円) | △84.03 | 5.18 |
| 希薄化後1株当たり四半期利益又は四半期損失 (△) (円) | △84.03 | 5.18 |

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) |
|---------------------------|---|---|
| 四半期利益又は四半期損失(△) | △6,814 | 1,517 |
| その他の包括利益 | | |
| 純損益に振り替えられることのない項目 | | |
| その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産 | 19 | △11 |
| 純損益に振り替えられることのない項目合計 | 19 | △11 |
| 純損益に振り替えられる可能性のある項目 | | |
| 在外営業活動体の換算差額 | △246 | 103 |
| キャッシュ・フロー・ヘッジ | 16 | 5 |
| 純損益に振り替えられる可能性のある項目合計 | △230 | 108 |
| 税引後その他の包括利益 | △211 | 97 |
| 四半期包括利益 | △7,024 | 1,614 |
| 四半期包括利益の帰属 | | |
| 親会社の所有者 | △5,959 | 1,005 |
| 非支配持分 | △1,065 | 609 |
| 四半期包括利益 | △7,024 | 1,614 |

（4）要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

（単位：百万円）

| | 親会社の所有者に帰属する持分 | | | | | |
|---------------------|----------------|--------|------|---------------------------|------------|---------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 自己株式 | その他の資本の構成要素 | | |
| | | | | その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産 | 確定給付制度の再測定 | キャッシュ・フロー・ヘッジ |
| 2020年4月1日残高 | 14,030 | 18,876 | △158 | △7 | — | △203 |
| 四半期利益 | — | — | — | — | — | — |
| その他の包括利益 | — | — | — | 12 | — | 16 |
| 四半期包括利益 | — | — | — | 12 | — | 16 |
| 新株の発行 | 4,500 | 4,500 | — | — | — | — |
| 自己株式の取得 | — | — | △1 | — | — | — |
| 自己株式の処分 | — | 0 | 0 | — | — | — |
| 配当金 | — | — | — | — | — | — |
| 非支配株主との取引に係る親会社持分変動 | — | △3,776 | — | — | — | — |
| 新規連結による変動 | — | — | — | — | — | — |
| 所有者との取引額合計 | 4,500 | 724 | △1 | — | — | — |
| 2020年9月30日残高 | 18,530 | 19,600 | △159 | 6 | — | △186 |

| | 親会社の所有者に帰属する持分 | | | | 非支配持分 | 資本合計 |
|---------------------|----------------|---------------|---------|------------------|--------|--------|
| | その他の資本の構成要素 | | 利益剰余金 | 親会社の所有者に帰属する持分合計 | | |
| | 在外営業活動体の換算差額 | その他の資本の構成要素合計 | | | | |
| 2020年4月1日残高 | △286 | △495 | △7,295 | 24,958 | 13,931 | 38,889 |
| 四半期利益 | — | — | △5,788 | △5,788 | △1,026 | △6,814 |
| その他の包括利益 | △200 | △171 | — | △171 | △39 | △211 |
| 四半期包括利益 | △200 | △171 | △5,788 | △5,959 | △1,065 | △7,024 |
| 新株の発行 | — | — | — | 9,000 | — | 9,000 |
| 自己株式の取得 | — | — | — | △1 | — | △1 |
| 自己株式の処分 | — | — | — | 0 | — | 0 |
| 配当金 | — | — | △578 | △578 | △316 | △894 |
| 非支配株主との取引に係る親会社持分変動 | — | — | — | △3,776 | △5,346 | △9,122 |
| 新規連結による変動 | — | — | — | — | 788 | 788 |
| 所有者との取引額合計 | — | — | △578 | 4,646 | △4,875 | △229 |
| 2020年9月30日残高 | △485 | △666 | △13,661 | 23,645 | 7,991 | 31,636 |

当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

| | 親会社の所有者に帰属する持分 | | | | | |
|---------------------|----------------|--------|------|---------------------------|------------|---------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 自己株式 | その他の資本の構成要素 | | |
| | | | | その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産 | 確定給付制度の再測定 | キャッシュ・フロー・ヘッジ |
| 2021年4月1日残高 | 18,530 | 31,302 | △159 | 15 | △7 | △221 |
| 四半期利益 | — | — | — | — | — | — |
| その他の包括利益 | — | — | — | △7 | — | 33 |
| 四半期包括利益 | — | — | — | △7 | — | 33 |
| 新株の発行 | 9,375 | 9,282 | — | — | — | — |
| 自己株式の取得 | — | — | △0 | — | — | — |
| 自己株式の処分 | — | 0 | 0 | — | — | — |
| 配当金 | — | — | — | — | — | — |
| 非支配株主との取引に係る親会社持分変動 | — | 8 | — | — | — | — |
| 所有者との取引額合計 | 9,375 | 9,290 | △0 | — | — | — |
| 2021年9月30日残高 | 27,905 | 40,592 | △159 | 7 | △7 | △188 |

| | 親会社の所有者に帰属する持分 | | | | 非支配持分 | 資本合計 |
|---------------------|----------------|---------------|---------|------------------|-------|--------|
| | その他の資本の構成要素 | | 利益剰余金 | 親会社の所有者に帰属する持分合計 | | |
| | 在外営業活動体の換算差額 | その他の資本の構成要素合計 | | | | |
| 2021年4月1日残高 | △417 | △630 | △17,958 | 31,086 | 8,355 | 39,441 |
| 四半期利益 | — | — | 915 | 915 | 602 | 1,517 |
| その他の包括利益 | 65 | 90 | — | 90 | 7 | 97 |
| 四半期包括利益 | 65 | 90 | 915 | 1,005 | 609 | 1,614 |
| 新株の発行 | — | — | — | 18,656 | — | 18,656 |
| 自己株式の取得 | — | — | — | △0 | — | △0 |
| 自己株式の処分 | — | — | — | 0 | — | 0 |
| 配当金 | — | — | △893 | △893 | △227 | △1,120 |
| 非支配株主との取引に係る親会社持分変動 | — | — | — | 8 | 17 | 25 |
| 所有者との取引額合計 | — | — | △893 | 17,772 | △210 | 17,561 |
| 2021年9月30日残高 | △352 | △540 | △17,936 | 49,863 | 8,754 | 58,617 |

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期利益又は税引前四半期損失 (△) | △9,122 | 2,192 |
| 減価償却費及び償却費 | 10,359 | 10,022 |
| 減損損失 | 134 | 115 |
| 金融収益 | △2,289 | △187 |
| 金融費用 | 1,504 | 1,993 |
| 固定資産除売却損益 (△は益) | 15 | △74 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | 150 | △627 |
| 営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加) | 646 | △5,070 |
| 営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少) | △2,668 | △2,598 |
| その他 | △523 | 1,203 |
| 小計 | △1,794 | 6,968 |
| 利息及び配当金の受取額 | 98 | 104 |
| 利息の支払額 | △1,309 | △1,398 |
| 法人所得税の還付額 | 1,639 | 559 |
| 法人所得税の支払額 | △243 | △3,389 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △1,610 | 2,845 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入れによる支出 | △6 | △6 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,789 | △2,979 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 323 | 739 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △1 | △0 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △377 | △135 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 698 | 1,253 |
| 連結子会社の取得による支出 | △4,369 | — |
| 営業譲受による支出 | △3,009 | — |
| その他 | △1,369 | △619 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △10,898 | △1,747 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 16,076 | △12,285 |
| 長期借入れによる収入 | 12,118 | 18,466 |
| 長期借入金の返済による支出 | △7,048 | △8,102 |
| 社債の発行による収入 | 11,034 | — |
| 社債の償還による支出 | △6,125 | △6,685 |
| リース負債の返済による支出 | △8,704 | △8,318 |
| 株式の発行による収入 | 9,000 | 18,597 |
| 連結子会社の自己株式の取得による支出 | △9,123 | △0 |
| 配当金の支払額 | △577 | △891 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △315 | △225 |
| その他 | △1 | △0 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 16,337 | 557 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △110 | 3 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 3,719 | 1,658 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 32,215 | 38,422 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 35,935 | 40,081 |

（6）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更に関する注記）

本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除き、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

当社グループは、当第1四半期連結会計期間より、以下の基準を適用しております。

| IFRS | | 新設・改訂の概要 |
|----------|---------|--|
| IFRS第7号 | 金融商品：開示 | 金利指標改革に伴い、既存の金利指標を代替的な金利指標に置換える時に生じる財務報告への影響に対応するための改訂 |
| IFRS第9号 | 金融商品 | 金利指標改革に伴い、既存の金利指標を代替的な金利指標に置換える時に生じる財務報告への影響に対応するための改訂 |
| IFRS第16号 | リース | 金利指標改革に伴い、既存の金利指標を代替的な金利指標に置換える時に生じる財務報告への影響に対応するための改訂 |
| IFRS第16号 | リース | COVID-19に関連した2021年6月30日より後の賃料減免に関する会計処理を改訂 |

①IFRS第7号「金融商品：開示」、IFRS第9号「金融商品」及びIFRS第16号「リース」の適用

当社グループは、当連結会計年度より当該基準を適用しております。なお、当該基準の適用による要約四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

②IFRS第16号「リース」の適用

本改訂は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の直接的な結果として賃料減免を受けたリースの借手に対して、簡便的な会計処理を選択することを認めるものであり、2021年3月の改訂により適用期間が延長されております。

当社グループは、上記の要件を満たす賃料減免について本便法を適用しております。

尚、本便法の適用により当第2四半期連結累計期間における税引前四半期利益が338百万円減少しております。